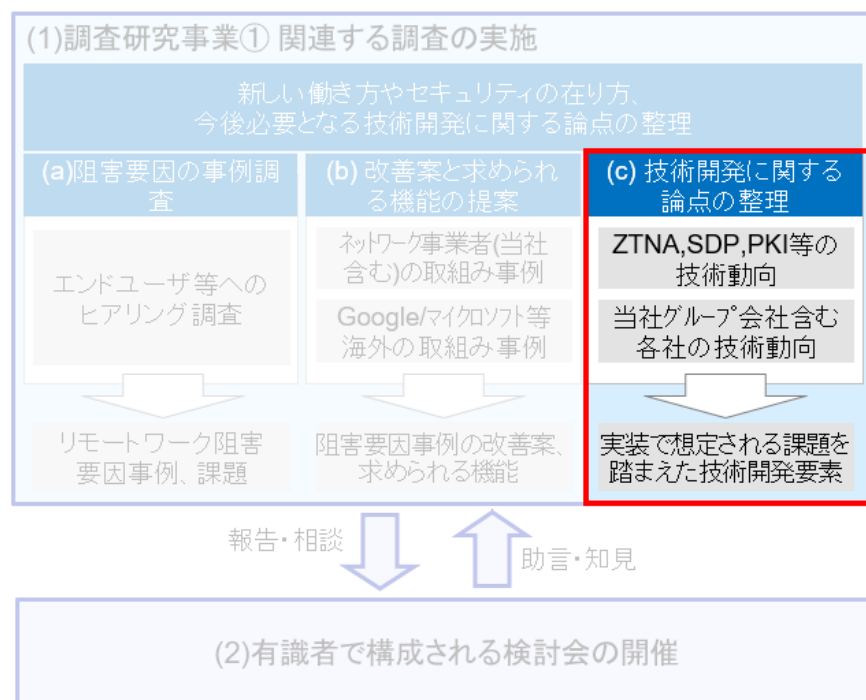


「(c) 技術開発に関する論点の整理」の実施方法

1) 概要

リモートワークおよびクラウドサービスを利用する上で今後主流となるゼロトラストの考え方をもとに要素技術の先行調査を行う。その後、「(a) 阻害要因の事例調査」「(b) 改善案と求められる機能の提案」より導き出される必要機能に対して、先行調査から不足している技術は追加調査または今後開発が必要な要素としてまとめる。



2) 実施方法

以下の3つの方法で、調査を実施する。

1	技術調査
2	効果検証
3	懸念点の調査

2-1) 技術調査 調査対象技術

調査対象技術はアメリカ国立標準技術研究所(NIST)から発行されたゼロトラストアーキテクチャ(ZTA SP800-207)より、モデル毎のソリューション例(下記図1)からZTNAやSDPおよびVDIやMTD、シンククライアント、さらに「(a) 阻害要因の事例調査」「(b) 改善案と求められる機能の提案」より導き出された技術とする。

図1 モデル毎のソリューション例

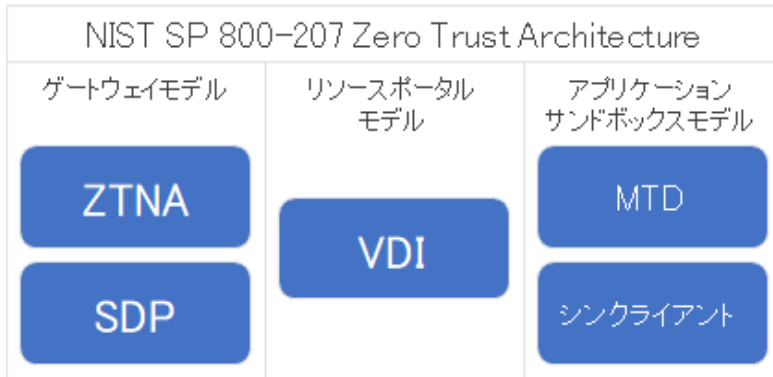


表1 調査対象技術

No.	調査対象技術
1	ゼロトラストネットワークアーキテクチャ (ZTNA)/Software Defined Perimeter(SDP)
2	仮想デスクトップ(VDI)
3	モバイル脅威対策(MTD)
4	シンククライアント
5	「(a) 阻害要因の事例調査」 および 「(b) 改善案と求められる機能の提案」 より導き出された追加調査が必要な技術

2-1) 技術調査 調査方法・調査結果

弊社では調査会社であるガートナー社と契約しており、専属のアナリストに適切な技術調査結果レポートを提示していただくことができる内容となっている。今回は本技術調査結果としてアナリストより提示されたマーケットガイドレポートから調査対象技術の概要・メインプレイヤー・技術動向の情報を収集し、調査結果としてまとめる。

マーケットガイドレポートサンプルイメージ（項目抜粋）

マーケットガイド 「ソリューション名」

- ・ 概要
- ・ 主な調査結果
ソリューションの概要などが記載
- ・ 代表的なベンダ
代表的なベンダの一覧が記載
- ・ 市場の定義、説明、方向性
ソリューションの必要とされる市場定義、説明、今後の動きが記載
- ・ 市場の推奨事項、具体的な推奨事項
ソリューションを導入する際に必要となる取組み方や市場動向を踏まえた上での契約の仕方などが記載

2-2) 効果検証

「(a) 障害要因の事例調査」「(b) 改善案と求められる機能の提案」より導き出される機能要件に対して調査対象技術で満たすことができるかを検証する。解決が困難な場合は追加で関連技術を調査し、関連技術もないようであれば今後開発が必要な要素とする。

2-3) 懸念点の調査・調査方法

【概要】

ゼロトラストで使用する証明書と認証局を取り巻く環境に対して、考慮しておくべきリスクがあるため懸念点を調査する。

【調査方法】

インターネット文献や有識者および弊社グループ会社であり、日本初かつ国内最長 20 年以上の運用実績を持つ商用電子認証局であるサイバートラストへのヒアリングから、懸念点を抽出する。

3) 想定されるアウトプット

- ゼロトラストネットワークアクセス(ZTNA)/Software Defined Perimeter(SDP)
 - 概要・メインプレイヤー・技術動向
- 仮想デスクトップ(VDI)
 - 概要・メインプレイヤー・技術動向
- モバイル脅威対策(MTD)
 - 概要・メインプレイヤー・技術動向
- シンククライアント
 - 概要・メインプレイヤー・技術動向
- 「(a) 阻害要因の事例調査」および「(b) 改善案と求められる機能の提案」より導き出された追加調査が必要な技術
 - 概要・メインプレイヤー・技術動向
- リモートワークにおいて求められる新しい機能に適用する技術開発要素
 - 例：ゼロトラストネットワークアクセス(ZTNA)における動的ポリシーを設定する技術(位置・バイタル[血圧・脈拍など]情報によるアクセス制御に関する技術など)
 - 懸念点 (証明書を利用する上でのリスク)